＜先週の説教から＞

『ヘブライ㉚ー故意に罪を犯し続けると』

武田真治牧師

民数記 １５：２７～３１　ヘブライ書 １０：１９～３１

最初にお詫びがあります。この説教箇所と題を決めた時点では 10 章の 26 節以下も十分にお話しできると考え、26 節から説教題を付けましたが、今回、その前の 19～25 節の内容の豊かさにとても 26 節以降まで語れません。故に、この題は次回に回させて頂きますことをお許し下さい。

さて、8章から前回の箇所までは“大祭司キリスト”の理論編でした。今日の１９～２１節はそれらをまとめて、“キリストの血と体”によって私たちの罪が赦され「新しい、生きた(天への)道を開いてくださった」ことと、天の聖所にイエス様が「偉大な祭司としておられる」ことが確認されます。その上で、22 節からいよいよ“実践編”が始まるのです。

最初の勧めの言葉は「心は清められて、良心のとがめはなくなり、体は清い水で洗われています。信頼しきって、真心から神に近づこうではありませんか。」です。ここで最初に私たちの「心」と「体」が取り上げられていますが、これが先ほどのキリストの「血と体」に対応して語られています。

即ち、罪の清めとは、主を「心で」信じることにより神様が私たちを赦してくださることで（＝「心は清められて、良心のとがめはなくなり」)、これが“信仰によって義とされる”です。ただ、まだ残っているものがあると。それが私たちの「体」なのだと。イエス様が「世にこられたとき、体を備えてくださった」(5節)のは、体を持って生きる私たちのこの世での生き方を示すためであったと。それは何より、イエス様が宣教の業を始められる際に、先ず洗礼者ヨハネの元にわざわざ行かれて、自ら“洗礼”をお受けになられ（＝ヨハネは『私こそあなたから洗礼を受けるべきなのに』と言ったのに、主はこれが『ふさわしいこと』と)、その上で福音を告げ知らせ始められました。同じように、私たちも先ず「体」を「清い水で洗う（＝洗礼)」ところから始めるのだと。その上で、神様の御業に用いられるようになれるのだと。今日の箇所では、あなたがたはもう「洗われている＝受洗している」のだから「真心から神に近づこう＝礼拝に加わり、神様のご用に当たろう」と勧められているのです。これは『わたしについて来たい者は、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい』というイエス様の言葉に通じます。各自が「体」を持ち乍ら生きることも各々が背負う十字架に入るのです。

二番目の勧めが 23 節の「公に言い表した希望を揺るがぬようにしっかり保ちましょう。」です。“公に言う”とは信仰告白であり、特にみ国への希望を指します。この希望を持ち続けて、告白し続けることで信仰生活が続けられると！

三番目が「互いに愛と善行に励むように心がけ、集会を怠ったりせず、励まし合いましょう。」で、とても具体的です。実はこの3つの勧めは“信仰・希望・愛”なのです！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．11 月 2 日（水）20：00
Ⅱ．11 月 3 日（木）10：30

聖　　書：　ハイデルベルク信仰問答
祈祷主題：　聖徒の日、召天者記念礼拝を覚えて
担 当 者：　(水) 飯島　(木) 小杉
祈りに覚える人：　吉川さん　　吉澤さん

【教勢報告】

主日礼拝　　男　26　　女　59　　計　85
祈祷会　Ⅰ．男4　女3　計7　　Ⅱ．男2　女10　計12
日曜学校　　幼稚科　3　　小中科　13　　計16
ひつじ雲の会〈10 月 25 日(火)〉　男 0　　女 5　　計 5

【次週礼拝】　１１月　６日（日）

聖　書：　イザヤ書　２５：６～１０
テモテへの手紙　Ⅱ、２：８～１３

説　教：　「召天者記念礼拝―キリストと共に！」
武田 真治 牧師

讃美歌：　３７９(1)、３２(1)、３８５(1と2)、
聖歌隊(528)、３８５（3と4)、２４(1)

【次週当番表】

司式:坂田長老　奏楽:村上　礼拝:岩佐長老
献金：松下　松田　　受付：西尾　森本
会堂準備：浅井　阿部　齋藤　山田
看板：保坂　　週報：岩佐　　お花：森本

【次週集会予定】

礼拝前：・求道者会　・聖書輪読会
礼拝後：・墓前礼拝 13:30～

週　報

2022 年度　教会標語

「礼拝に支えられ、共に生きよう！」

２０２２年　　１０月　３０日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/